



市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクト NPO Internship Project



NPOインターンを通してSDGsを考える！ We think about the SDGs through the NPO Internship!

当プロジェクトの背景・目的としては、NPOによる市民活動の実態や課題を現場で体験する活動を軸に協働型まちづくりについて体験して考え、自らが主体的に学ぶ力を身に着けることにある。「ボランティア」ではなく、「スタッフ」として現場に向かい、組織の一員としてスタッフと対等に議論したり、他のインターン生と活動したりすることにより、表面的な結果ではなく、社会の裏側や深い課題に気づき、自己と向き合うことで「働くことに対する価値観」を育てることを目的・目標としている。

活動は個別にNPOへのインターンを通じて活動を行った。コトラボ合同会社では、障子張り替えや部屋の掃除、ホステルの部屋をプラン提案などを経験し、寿町やホステル事業について学んだ。横浜NGOネットワークでは、インターン生が主体となって、食の多様性、多文化共生、ジェンダーをテーマにSDGsに関するイベントを4つ企画し、その運営を行った。アークシップでは国も世代も性別も障がいも関係なくつながるイベントにて、広報活動や、ミュージシャン、福祉施設への取材などを行った。アクト川崎では、地球規模の環境問題、特に海洋プラスチック問題について学習し、その解決策について考えたり、「かわさき環境フォーラム」に参加し、環境問題に取り組む人々とや地域の子ども達と交流を深めた。

今後の可能性としては、団体での活動を通じて身に付けたビジネスマナーや、多文化共生、地域での連携に対するアプローチの手法などを活かして、自分の問題意識を実践することのできる人材となることである。若い世代からの視座で何ができるか、NPOに関わらず検討したい。

- 学生：5名（栗田真実、細田灯季、中村光太郎、宮越康多、緑川琴音）
担当教員：志村真紀
- 連携・協力：コトラボ合同会社、横浜NGOネットワーク、NPO法人ARCSHIP、
NPO法人アクト川崎、NPO法人アクションポート横浜
- 活動地域：横浜市、川崎市等
- サイト：<https://actionport-yokohama.org/>